



ほうき 議会だより

第29号

2012年4月25日



溝口中学校入学式

おもな内容

- 平成24年度一般会計予算…………… 2～3ページ
- 予算審査特別委員会…………… 4ページ
- 陳情・請願…………… 5ページ
- 全員協議会…………… 6ページ
- 町政を問う…………… 7～13ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 14ページ

町 勢

人口	11,574人
男	5,542人
女	6,032人
世帯	3,758世帯

(平成24年3月31日現在)

平成24年度 伯耆町一般会計予算 74億9百万円に決まる！

対前年度比 約2億8千万円（約3.7%）の減

環境に配慮したまちづくりを！

- ・三月定例会を三月六日から三月二十二日まで開会。
- ・「健康ポイント」制度の新設、「鬼ミュージアム」企画展の開催、植田正治生誕百周年記念準備事業などに着手
- ・溝口小の耐震等改修事業も継続実施。岸本小、八郷小も新規に耐震等改修に着手！

主な事業

歳入 (主なもの)

- ・地方交付税 三三六、六〇〇万円
- ・町税 一三五、三〇〇万円
- ・国・県支出金 一〇二、一〇〇万円
- ・地方消費税交付金 九、五〇〇万円

歳出 (主なもの)

- ・全国どぶろく研究会開催支援 五一七万円
- ・こしが丘エコロジー公園整備モデル事業 六六三万円
- ・日光地区交流促進事業 四一万円

町長施政方針 (要旨)

- ・溝口小耐震等改修 (継続) 三七、七三三万円
- ・岸本小耐震等改修 (新規) 一〇、八一一万円
- ・八郷小耐震等改修 (新規) 一〇、三九二万円
- ・ほうきスマイリースポーツクラブ補助金 六八九万円
- ・防災と健康づくりを重視
- ・廃棄物減量化、紙おむつの燃料化への実運用に取り組む
- ・「町民の森(上野地内)整備構想の設計へ
- ・地域リーダーの育成等(ほうきまちづくり塾、「パートナー職員制度」、「地区別懇談会」など)
- ・日光地区交流促進事業で交流イベントの開催
- ・大型生ごみ処理機をモデル的に設置
- ・チャイルドシートの貸し出し普及
- ・スポーツ推進の審議会を設置



今年度除雪ドーザを購入予定

予算に対する質疑

6名の議員が質問

影山辰雄議員

○単独災害復旧事業
影山 農業用施設災害に一千万円計上されているが、法的措置として専決処分という方法もある。まだ、発生していない災害の復旧費計上は、手順に問題がある。
課長 迅速な復旧を目指す方法であり、理解いただきたい。

○こしが丘浄化槽撤去・エコロジー公園整備
勝部 町所有の土地に自治会が浄化槽の撤去などの工事を発注して、手を

勝部俊徳議員

○こしが丘浄化槽撤去・エコロジー公園整備
勝部 町所有の土地に自治会が浄化槽の撤去などの工事を発注して、手を



撤去予定のこしが浄化槽

細田 栄議員

○総合公園管理運営事業
細田 総合公園下側入口



総合公園付近 (除草後)

篠原 天議員

○教育支援センター新設
篠原 同センターの具体的な役割は？

加える法的根拠は？
浄化槽撤去時のアスベスト対策及び、工事費六〇万円の内訳は？
課長 生ゴミ減量化実験として地元を支援する。アスベスト撤去も行政が全面的に支援する。その経費の内訳は、浄化槽撤去到五七四万円、花壇設置等に九二万円の予算を計上している。

付近の法面がほとんど管理されず放置されている。数年前にボランティアで清掃されたぎりである。玄関口で植栽もされているが、荒れ放題で見苦しい。この場所の管理は公園側か、道路側か曖昧なようである。今年度はどのような管理を行う予定か？
次長 管理体制が曖昧になってきたが、今後は道路管理者側で適正な管理をしたい。

幅田千富美議員

○公用車の購入
幅田 予算額七六六万円の内訳は？
課長 普通車一台 三八〇万円
ジープ二台 二八〇万円
他

○町民の森新設
幅田 運営方針等、隣接するコカコーラの協賛は？
課長 関係区長、コカコーラを含む構想策定委員会を設置し、協議の予定。

渡部 勇議員

○鬼ミュージアム企画展
渡部 予算計上されている三〇〇万円の事業内訳は？
課長 フィギア展示費用として二五〇万円。事務費として五〇万円。

○町道管理事業
渡部 予算計上されている一、五〇〇万円の工事費の内訳は？
課長 現時点では、骨格予算として計上している。将来需要に備えたもの。

町の借入金の状況 (単位：千円)

区分	22年度末 現在高	23年度末 現在高	24年度中増減見込み		24年度末 現在高見込額
			当該年度中 起見見込額	当該年度中元 金償還見込額	
1 普通債	7,201,504	6,529,090	413,400	754,986	6,187,504
2 災害復旧債	97,802	44,895	-	3,985	40,910
3 過疎対策事業債	887,893	1,473,560	379,000	209,854	1,642,706

予算審査特別委員会

【予算審査意見】

(H24・3・23本会議報告)

三月定例会で、一般会計並びに十四特別会計等の予算について、議会の予算審査特別委員会の「審査意見」として、次の十五項目を本会議に審査報告し、承認しました。

1. 分庁舎の空きスペースを有効に利用されたい。
2. 農業用施設単独災害復旧事業費の一、〇〇〇万円については、執行状況を逐次、公表されたい。
3. 平成二十八年度に水道事業が一本化されるので、料金体系と適正な財政運営を検討されたい。
4. ごみのステーション化の未実施地区のごみ集積所整備補助金（八か所）が計上されているが、一〇〇％設置に向けて努力されたい。
5. 可燃ごみの三割削減に向けて必要な施策を着実に実行するとともに、町民へのさらなる啓発を図られたい。
6. 中海テレビに貸与している回線使用料の増額を交渉されたい。
7. 検診事業には鋭意努力されているが、さらなる受診率の向上に努力されたい。
8. ケースワーカーのローテーション化を検討されたい。
9. 保育所、福祉センターなど老朽化した施設の改修計画を検討されたい。
10. 学校並びに保育所などの公共施設の除雪対応を検討されたい。
11. 学校支援コーディネーター、地域コーディネーターのさらなる待遇改善を検討されたい。
12. 八郷小学校体育館の雨漏りなどの改善を早急に実施されたい。
13. 総合スポーツ公園の職員体制の適正化を図られたい。
14. 岸本図書館の図書費を傾斜配分して蔵書を充実されたい。
15. 町営住宅の趣旨に鑑み、住宅管理の所管課と次期対策を検討されたい。

皆さんからの陳情・請願は 次のとおりとなりました

<p>継続審査となりました</p> <p>・「社会保障と税の一体改革成案」に反対する陳情</p>	<p>不採択となりました</p> <p>・公的年金の引き下げに反対する意見書提出を求める陳情</p> <p>・住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情</p>	<p>採択となりました</p> <p>・「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書提出に関する陳情</p> <p>・国民医療と国立病院の充実強化に関する陳情</p> <p>・障害者総合福祉法(仮称)の制定を求める陳情</p>
---	--	---

議決された意見書

こころの健康を守り推進する基本法(仮称)の法制化を求める意見書

自殺者数は毎年3万人を超え、精神障害者保健福祉手帳保持者や自立支援医療(精神通院医療)の受給者も増加している。

「五大疾病」に精神病が加えられたが、精神医療・保健改革と家族支援を軸とした基本法(仮称)の法制化を求めるもの。

国民医療と国立病院の充実強化に関する意見書

国立病院は、地域医療の中核として、重要な役割を果たしているが、国は「公務員人件費削減」や「効率化」の名のもとに一律削減を進めている。医師、看護師不足は社会問題化しているもとの、国立病院の充実強化を求めるもの。

みんなが知りたい

全員協議会

平成二十四年
三月一日開催

業(有)への採石事業承継
場所 伯耆町三部

⑤ 固定資産税返還請求調停について(報告)

⑥ 財伯耆町農業振興公社の現状と今後の運営方針について(報告)

・今後の方針
平成二十三年度も赤字となる状況であり、平成二十四年度の受託作業は従前どおり公社で対応し、公社の清算については並行して調整し、その後解散する。

⑦ 第六十四回全国植樹祭の開催概要について(報告)

・開催時期 平成二十五年春季(五月中旬から六月上旬)

⑧ 岸本小学校及び八郷小学校校舎耐震補強等工事の設計について(協議)

・設計図面及び工事内容の説明・協議

⑨ 学校給食会計の公会計化について(説明)

・学校給食費滞納状況
(平成二十三年三月末現在)・滞納額二八五万円

⑩ 学校給食事務の効率化について(説明)

⑪ 二部体育館建設工事設計協議の進捗について(報告)

・各団体等からの代表者による二部体育館建設関係者代表者会を設置し、検討及び原案の作成を行う。

三月十九日開催

① 伯耆町税条例の一部改正について(説明)

② 平成二十三年度町税の不納欠損予定額について(説明)

・不納欠損額 一、二〇〇万円

③ グリーンパーク大山株式会社再生計画(案)の認可決定について(報告)

④ 王子製紙株式会社との分収造林契約の解除について(報告)

⑤ 伯耆町債券運用指針の制定について(報告)

⑥ 平成二十四年度における機構改革について(報告)

・地域整備課の体制を現在の三室体制から、二室体制に移行する。

⑦ 町民の森(仮称)基本構想(案)について(報告)

・基本構想策定委員会を設置し、委員十二名による、基本構想策定委員会を開催。

⑧ 鳥取県西部広域市町村圏計画「基本計画」(報告)

⑨ 宅地開発可能性基礎調査(報告)

・伯耆町の宅地としてのニーズがあることに着目し、宅地として開発が可能と思われる箇所について検討を行う。

⑩ 榎水高原リフト整備について(説明)

⑪ おにっ子ランド・鬼ミュージアムの意見聴取結果について(報告)

⑫ 地域福祉計画等(案)について(説明)

⑬ 農業農村小水力発電施設導入事業について(報告)

・事業主体 県
・農業用水等の資源を最大限活用し、小水力発電施設の整備を行う。

⑭ 伯耆町農業振興地域整備計画の策定進捗状況について(報告)

⑮ 伯耆町男女共同参画推進計画後期計画について(説明)

⑯ 学校統合地区協議について(報告)

・二部・日光・八郷地区にて小学校統合に係る意見交換会

④ 開発事業について(報告)

・大殿サービス付高齢者向け住宅並びにコンビニエンスストア

場所 伯耆町大殿(国道181号・県道米子岸本線交差点付近)

・大殿自動車用品並びにドラッグストア

場所 伯耆町大殿(旧ジユンテンドー店舗)
・大橋産業(有)から景山総

町政を問う

- ・ 合併10周年に向けて「町の歌」の制定を！
- ・ 新たな県西部の振興策が必要ではないか！



崩壊防止対策を！



勝部 俊徳

急傾斜地（福吉、長山、上細見）地区の崩壊防止事業の取り組み状況は？

勝部 急傾斜地対策事業の状況について伺う。

地域整備課長 進捗状況等は、次のとおり。

- ①福吉地区 H21～24。総事業費約一億二千万円。

福吉、長山、上細見地区の急傾斜地対策は？

地域整備課長

鳥取県にお願ひして早期完工に取り組んでいる。
 ・ ・ ・ 受益者負担は、町がみる。

溝口中学校に部室の新設を！

教育長

学校施設の有効活用も含め、学校とも話し合ってみたい。

- ②長山地区 H23～30。約三億円。
- ③上細見地区 H24～32。約五億二千万円。

勝部 国・県の金額を差し引いた残りの1/3の受益者負担金の扱いは？

地域整備課長 公共補助対象となった事業については、本町は、町で受益者負担金を、予算化する。

「中海圏域の市長会」と。「鳥取県西部の市町村」との・・・これからの動向は？
 ・ ・ ・ 新しい県西部の振興計画が必要ではないか。

勝部 「中海・宍道湖・大山圏域の市長会」について町長の受け止め方は？

町長 ①期待と危惧もある。（基礎自治体の集まる。

町の歌を！



りであるため。②観光や経済の連携も出てきた。

③トップ同士の合意があれば、進んでいくと思う。

勝部 この市長会に、私たちの西部町村長会の立場である「オプザバー」との意味は？

町長 会議には出席するが、合意形成には関与しないということである。

勝部 新たな鳥取県西部としての振興策が必要と考えるが、どうか。

町長 振興的な話は、い

まは、無い。
 振興的な計画の必要性は、高まっていない。

「町の歌」の制定について
 ・ ・ ・ 合併10周年に向けて

勝部 町制施行10周年に向けて「町の歌」を制定する考えはないか。

町長 県内で歌のないところは四市町で、本町はそのうちの一つ。

行政が主体となつて動かしていく代物ということにいくつか論点もある。次の総合計画のアンケート項目としてみたい。

部室の新設を！
 ・ ・ ・ 溝口中学校

勝部 まず、中学校の統

合の現状認識を伺う。

教育長 当分、しばらく岸中、溝中の二校が存続していく見通しである。

勝部 溝口中には、部室が無い。早期に部室を作るべきではないか。

教育長 学校施設の有効活用も含め、学校とも、よく話し合ってみたい。



溝口中学校グラウンド（長山）

町政を問う

町の借地の解消対策を!!



農村公園運動広場

借地解消対策を!

幸本 総合計画の財政運営の基本方針に、将来の世代に過度な負担を残さないために、公債費の削減を図るとある。町の借地解消に向けての計画は、どうなっているのか伺う。
担当課長 返還可能な土



幸本 元

町の借地解消対策を!
担当課長 借地解消に向けて検討する

町長 制度内容の周知をしたい

住宅火災警報器の普及促進を!

新年度から、柔道とダンスが必修化!

教育長 生徒の安全を確保して実施する

住宅火災警報器の普及促進を!

地を検討している。必要な土地についての買い取りは、多額の費用もかかるため、まずは、借地料の改定の交渉をする。
幸本 将来の財政やビジョンを描き、借地解消に向け交渉されることを要望する。

住宅火災警報器の普及促進を!

幸本 平成二十三年六月から、住宅火災警報器の設置が義務化され、県内の設置率が公表された。本町は、県内十九市町村中、十六番目と設置率が悪い。設置促進の取り組み状況を伺う。

担当課長 PR活動はしているが、関心度が低いと考えている。

幸本 普及促進に向けて今後の取り組みを伺う。

町長 義務化の内容を周知する。

幸本 設置率の高い市町村では、設置促進に向けて対応をしている。

普及促進のさらなる取り組みを要望する。

新年度から、柔道とダンスが必修化!

幸本 学習指導要領の改訂により、中学校の体育の授業で、新年度から柔道とダンスが必修化となるが、生徒の安全確保について、どのような対策を考えているのか伺う。

教育長 教師は指導力向上のために講習を受けている。安全面を前提とした授業経験もある。

幸本 柔道の技術面だけでなく、武道の礼節や態度を学ぶことが大切だと考えられている。感謝す



溝口武道館における柔道少年団

ることで、信頼し合い助け合う心を育み、他人と共に栄える世の中にしようとする理念の教育にも期待して、生徒の安全を第一に考えた授業方法を取り組まれることを要望する。

町政を問う

「防災」「健康」新たな取り組みは？



野坂 明典

防災計画の見直しは

町長

できるものから早期に対応する

伯耆町のスポーツの振興は

教育長 積極的に取り組む

防災と健康

野坂 防災について、昨年は、東日本大震災と豪雨が日本列島を襲った。

伯耆町においても昨年一月の豪雪、九月の集中豪雨と想定外の災害に見舞われた。

伯耆町の防災計画は見直しが必要であるがどのように実施するのか。

町長 既に二十三年度から見直している。東日本大震災を受けて国の基本防災計画が公表されていないが、津波・原子力中心となる見直しと思う。

原子力については町単独ではできない。県の対応に従って見直す。津波についても本町に直接影響は少ないが、避難所の関係が出てくると思う。

野坂 町の避難場所は再

検討する考えはないか。

町長 地震も水害も避難所が同一になっているので検討する。

野坂 人生では、健康であることが最大の幸福である。

町長の健康に対する想いと健康ポイント制度について伺う。

町長 健康とは日常生活を心と体が健やかで安心して暮らせることである。

健康ポイント制度は、検診や健康運動に参加する動機付けであり、楽しみながら参加されることを期待している。

スポーツ基本法

野坂 このたび「スポーツ基本法」が制定された。

基本法には新しく理念が記載されている。

「自主的・

自律的なスポーツ活動、学

校・団体・家庭・地域の相互連携、心身の健康保持増

進、障害者スポーツへの配慮、競技水準の向上など」

が理念として制定されている。町長の考えを伺う。

町長 新しい

法整備では生涯スポーツが重視されており、地域型スポーツクラブが定着することを期待している。

野坂 年間を通して行うスポーツ活動はどうするか。

教育長 現在進めている



ものもあるが、計画的に取り組んでゆく。

野坂 地域スポーツ推進計画を策定するか。

教育長 条例を作って策定する。

野坂 スマイリースポーツクラブの今の活動と将来の取り組みは。

来取り組みは。

教育長 年間を通じて実施しているものは五競技であるが、季節的に実施しているものもある。大会は四大会を開催している。その他講師の派遣や体育協会への協力である。

来年度からは、日本体育協会公認のクラブマネージャーを採用し、積極的に取り組んでゆく。広がりが十分でないのでさらにPRに努める。

野坂 体育協会が行っている事業は、かなりの部分は地域スポーツである。

スマイリースポーツクラブに移転しては、どうか。

教育長 協会の規則には、この部分も含まれている。連携して運用すること

も必要であると思う。

町政を問う

シチズンシップ教育を導入を！

認知症予防教室(はつらつ教室)



渡部 勇

シチズンシップ教育への取り組みは 教育長 本町の学校教育の基本理念に沿って

渡部 子どもたちが将来、国民としての十分な役割を果たせるように、シチズンシップの教育が重要

かと思うが、この教育について、どう思われるか。
教育長 伯耆町の学校教育の基本理念であり、め

ざす子ども像、それを具現化するのが、シチズンシップ教育の推進ではないかと思う。

渡部 投票率向上の第一歩は、子どもの頃からの将来、地域を担うという教育が必要では。

教育長 小学校高学年及び、中学生など、対象に子ども議会の取組ができるように、検討させて頂きたい。

基本検診・ガン検診は定期健診が行われ、認知症も定期健診へ

渡部 伯耆町での認知症予防の取り組みは。

担当課長 専門医による物忘れ相談会を開催したり、タッチパネルを用いた検査などを実施しています。

渡部 各検診の受診率は。
担当課長 受診率向上のために、平成二十四年度には、健康ポイント制度を実施したいと考えています。

渡部 認知症の定期健診化する考えはないか。

町長 認知症予防の取り組みは、啓発が一番必要ではないか。また定期健診化は現段階では、できない。

町長選挙・議会議員選挙を同日選挙

渡部 合併協議会での協議内容を教えてほしい。

副町長 公選法の規定に基づき、町長選挙は五十日以内の選挙となり、平成十七年一月三十日に決定されました。議会議員任期は平成十七年四月三

十日とされました。
渡部 経費の削減はいくらになるか。

担当課長 同日選挙にすれば経費の削減額は、四百三十万円減額となります。

渡部 町長の考えは、またどのような方法があるか。
町長 多様な判断があるとの考えである。それと自治法で任期は四年と設定されている、まずは、これが一番大事である。

伯耆橋歩道橋の設置

渡部 伯耆橋の歩道橋の全体計画の概要は。

担当課長 平成二十四年度は詳細設計の予算がさられ計画されます。工期として二年間の予定であります。

町政を問う

新年度予算の特色やいかに？



町の清掃センター（福島）



細田 栄

予算編成の基本的考え方は？

町長 住民と共に考え、進める

細田 新年度予算の特色として住民との協働のまちづくりが、より鮮明になったと思われる。例えば、健康ポイント事業の導入、事業用・家庭生ゴミを処理する大型

生ゴミ処理機の導入実験など、実施にあたっては住民の皆様にご理解いただく必要がある。今後どのように推進されるか。

町長 これらの事業は住民の皆様と共に考え、進める事業として計画した。特にゴミ処理については、四年後に伯耆町清掃センターを廃止するため、可燃ゴミの三割削減を目指して取り組んでいる。事業所の協力と、住宅団地ではモデル事業として取り組んでいきたい。

五年年度、中学校平成二十六年年度を目標に、総事業費は約十九億五千万円程度となる予定。学校統合にかかる問題の解決に向けて、保護者等の意見を聞きながら各校間の多様な交流を促進し、学校施設の跡地利用などの検討もしたい。

細田 雇用延長は年金給付年齢の引き上げに連動していると思うが、現状を尊重するならば、報酬比例部分の支給に合わせた退職年齢の引き上げにすべきではないか。

町長 国の制度設計に合わせて検討したいが、希望者全員となると慎重に対応しなければならぬ。

学校耐震化

細田 学校施設の耐震化、大規模改修工事は学校統合と切り離して実施する方針とされたが、最終年度はいつ頃か。その総額は、どれくらいか。

細田 高齢者雇用安定法の改正により、民間では既に六十五歳までの定年延長が、新しい継続雇用制度の導入が義務付けられた。本町ではどのような方針で対応されるのか。

細田 雇用延長は年金給付年齢の引き上げに連動していると思うが、現状を尊重するならば、報酬比例部分の支給に合わせた退職年齢の引き上げにすべきではないか。

町長 国の制度設計に合わせて検討したいが、希望者全員となると慎重に対応しなければならぬ。

統合準備の予算は、計上されていないが、本年度はどのような取り組みをされるか。

町長 国家公務員の対応も決まらない段階であるが、再雇用(任用)になるのではないかと。定年延長は考えにくい。

細田 雇用延長は年金給付年齢の引き上げに連動していると思うが、現状を尊重するならば、報酬比例部分の支給に合わせた退職年齢の引き上げにすべきではないか。

町長 国の制度設計に合わせて検討したいが、希望者全員となると慎重に対応しなければならぬ。

教育長 耐震化工事の最終年度は小学校平成二十

町長 国家公務員の対応も決まらない段階であるが、再雇用(任用)になるのではないかと。定年延長は考えにくい。

細田 雇用延長は年金給付年齢の引き上げに連動していると思うが、現状を尊重するならば、報酬比例部分の支給に合わせた退職年齢の引き上げにすべきではないか。

町長 国の制度設計に合わせて検討したいが、希望者全員となると慎重に対応しなければならぬ。

町政を問う

町営住宅の建て替えを！



老朽化した町営住宅



大森 英一

町長 早期に検討開始を求め、本年度に調査を開始したい

大森 一年前の三月定例議会において、合併協議事項であり老朽化した「町営住宅の建て替え」をどうするのかとお尋ねした際、「公営住宅法の要件を基に入居状況等を考慮しながら建て替え方法を検討する」旨の答弁をいただいた。その後、九月定例会一般質問において、篠原議員の「町営住宅建設の検討状況はどうか」という質問に対し、「次年度以降調査など含

め、検討をスタートしたい」旨の答弁をされている。にもかかわらず、今回の二十四年度当初予算において町営住宅に関わる記述が見当たらない。一方、同じ老朽化でも公営車の更新については予算化されており、町長の意図がはかりかねている。改めて「町営住宅の建て替え」をどうされるのかお答えいただきたい。

町長 二十四年度に公営住宅法の趣旨にのっとり調査を行う。内容は、民業の圧迫に繋がらないかという視点で住宅の状況、既存の賃貸住宅の利用状況など。

賃貸住宅に対するニーズ調査は、制度上必須事項である。事務的な業務なので、教育委員会ではなく、別

の部署に担当させる予定である。予算については進める過程で必要となれば別途予算をお願いしたい。

大森 町営住宅の根拠法令は公営住宅法だが、合併協議によりあえて合併の条件にした背景があり、経過から考えて、同和対策事業の理念は担保されるべきだがどうか。

町長 私は承知しております、当時在職した副町長に答弁させる。
副町長 合併協議で「同和対策の理念」が話されたかどうか確認はできないが、両町が持ち寄ったものをそのまま計画したものの。町長が述べたように、今後の住宅需要調査の中でそういうことも含めて調査する。

大森 確認するが、調査に同和対策の理念は入るか。

町長 基本的に同和対策特別措置法、それに続いた地域改善特別措置法、様々な特別措置については一般対策に移っていくという整理がなされた経過は重視しないと考えている。

大森 特別措置法はなくなったが、同和対策の理念は一般対策に引き継いでいる。そついう答弁なら同和対策事業の総括が必要ではないか。

町長 人権同和施策は教育委員会の人権政策室でしっかりやっております、公営住宅についてはこれまで述べたとおり調査をしっかりとやる。

大森 それでは今後のスケジュールはどうなるか。
町長 住宅の状況、既存の賃貸住宅の利用状況、ニーズの調査を四月から

行う。

大森 財源として「合併特別債」が考えられるが、その場合期限が後二年しかない。調査に二年もかけられないので、スケジュールをたてるべきではないか。

町長 実施段階に入れば、「合併特別債」や「過疎債」など、より有利な財源を検討する。

大森 調査方法はどうか。

町長 住宅の状況と賃貸住宅に対するニーズについてはアンケート調査、既存の賃貸住宅の利用状況については聞き取り調査になる。

大森 調査後、審議会等を設けるか。

町長 ニーズがあり実施段階になれば、執行部と議会ですらや条例などのやりとりになる。

町政を問う

消費税大増税・TPPに反対を！



幅田 千富美

町民への影響・対応は

町長 消費税は逆進性がある

幅田 野田政権は、社会保障と税の一体改革で①年金引き上げと支給年齢延長②高齢者医療制度の窓口負担を二割、三割に

③保育の国責任を放棄する子育て新システム④介護保険料引き上げとサービスマ抑制⑤国保の県一本化など、社会保障費を改悪する方針である。社会保障は、消費税で賄う制度にする。当面八％〜十％に引上げる法案だが、町民生活への影響について町長の見識と対応について伺う。

町長 消費税は逆進性があり、低所得者ほど負担多くなる。しかし、少子・高齢化社会に対応した社会保障制度の安定化を目的としたものである。

TPPに反対を

幅田 政府のTPP事前協議参加で、不安が拡がっているが、本町への影響をどう把握されているのか。反対への取り組みは。

町長 農業中心の町で、安価な農産物輸入もあるが、食の安心を求める消費者は変わらない。新しいデータは、公表されず、不明だが、全国町村長大会で反対決議している。今後、関係団体と協力行動時、県対応の内容などを見極め判断する。

就学援助、学校給食への支援充実を！

幅田 長期不況のもとでの子育て支援は、特別に重要。義務教育は無償と良いながら、毎年、父母

負担は引き上がり、文科省08年調査では、小学校年間約三百万円、中学校年間約四十八万円もかかっている。

父母の中から、「新入学は、喜びたいが、学校に費用がかかりすぎる。」との声もある。就学援助制度の充実と学校給食費への町の独自支援で、父母負担の軽減を図らないか。

教育長 生活保護基準の一・五倍の就学援助制度活用をしてほしい。

幅田 就学援助支給幅の拡充と給食費の支援を。(若桜町は今年度から学校給食費月額三〇％(約一五〇〇円)支援する。本町は一食十円)

障害者総合福祉法(仮称)の早期制定を

幅田 応益負担の障害者自立支援法を廃止し、政府との協議のもとに設置された「推進会議総合福祉部会」がとりまとめている「骨格提言」を最大

限に尊重する法を、国に求めていただきたい。町長の見解と対応を問う。**町長** 国が決められることであり、その審議を見守りたい。

幅田 福祉事務所を設置した町として、障害者やその家族の心に寄り添う町政を求めます。



あさひ保育所の修了式

一人ひとりの自発的健康づくりのきっかけとして

県西部初「健康ポイント制度」導入へ！

子どもは社会の宝 地域の子どもは、地域で見守り育てよう

役場健康対策課の小林課長を訪問して、今年度わが町で導入予定の「健康ポイント制度」事業についてお話をうかがいました。

質問 今回、近隣の他自治体に先駆けて、同制度を、わが町で導入される意図は？

小林課長 住民のみなさんの自発的な健康づくりへの機運高揚と、住民健診など健康維持のための活動への積極的参加の動機付けになることをめざしています。がんなどの早期発見には、定期的な健診が不可欠であり、そのためには、日ごろから健康への関心と、健診等への積極的な参加意識が重要です。

質問 導入が計画されている制度の概略についてお聞かせください。

小林課長 住民健診をはじめ、町が実施するさまざまな健康づくりの事業に参加された住民のみなさんに、ポイントカード

を発行し、事業ごとにポイントを付与します。十ポイント貯めると、五百円相当の金券と交換させていただきます。町内の所定の施設で、持参された金券と同額の商品・サービスの提供を受けていただく仕組みです。



小林健康対策課長

質問 現時点で想定されている、対象事業と金券の使用可能な施設は？

小林課長 現時点では、対象事業として、住民健診のほか、まめまめクラブ、さわやか歩キング、健康づくり講演会、はつらつ教室などです。金券使用可能な施設については、ゆうあいパル、デマンドバス、ガーデンプレイス、大山望などを考えています。



対象事業となる「まめまめクラブ」スタッフのみなさん

質問 具体的な制度導入の時期は？

小林課長 当初は、7月ごろの予定でしたが、現在さらに時期を早めるよう準備しています。導入時期および事業内容が正式に決定したい、住民のみなさんには、事前に詳細を町広報等で周知させていただきたく予定です。

質問 最後に、当面の検討課題と今後の方向性についてお聞かせください。

小林課長 課題としては、ポイント及び金券の有効期限をどのように設定するか現在検討中です。方向性としては、ポイント対象となる事業及び金券の使用可能な施設を、導入状況を見ながら広げてゆきたいと考えています。

感想 この計画が定着するよう期待します。

「議会だより」に対するご意見を「お待ちしております。」

編集後記

今年の冬は、ホントに”越冬隊”の感じとなった寒さの続ききびしい冬でした。

ようやく春の暖かい陽ざしを浴び、野山の木々も力強さを出してきます。去年は、大雪に大津波に台風災害にと、大変な年となりました。

いつもの、そして普段の生活は、やっぱり大切なもの。

豊年万作と健やかな毎日でありませうよ祈念申し上げます。

(勝部 俊徳)

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 大森 英一

副委員長 渡部 勇

委員 幅田千富美

委員 幸本 元

委員 勝部 俊徳

委員 篠原 天



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。